

# インド株式フォーカス(奇数月分配型)

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第125期(決算日2025年11月14日) 第126期(決算日2026年1月14日) 第127期(決算日2026年3月16日)  
作成対象期間(2025年9月17日～2026年3月16日)

第127期末(2026年3月16日)	
基準価額	9,389円
純資産総額	2,240百万円
第125期～第127期	
騰落率	△7.3%
分配金(税込み)合計	360円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インド株式フォーカス(奇数月分配型)」は、2026年3月16日に第127期の決算を行ないました。

当ファンドは、主に、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;642347&gt;

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

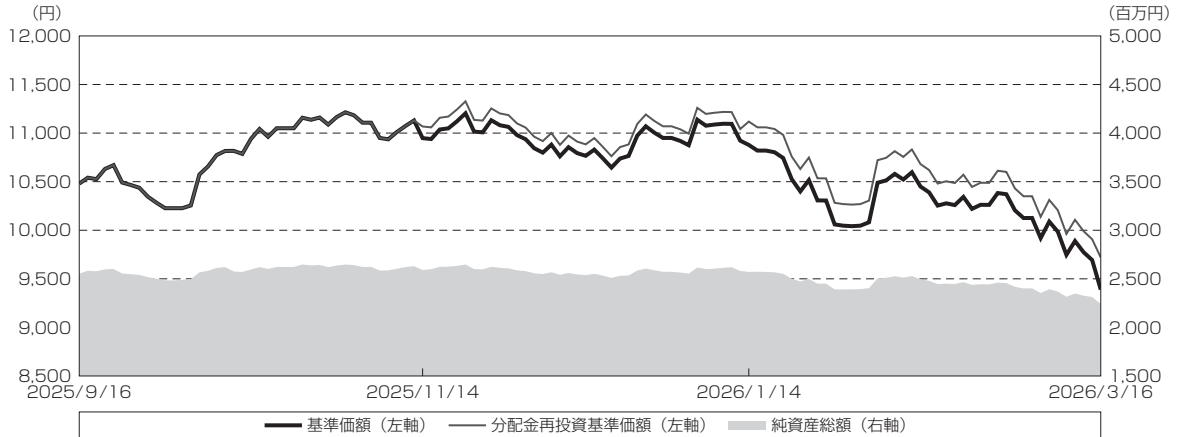
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2025年9月17日～2026年3月16日）



第125期首： 10,480円  
 第127期末： 9,389円（既払分配金（税込み）：360円）  
 騰落率： △7.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年9月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・金融セクターの銀行銘柄や消費者金融銘柄などの投資比率を高めとしていたこと。
- ・資本財・サービスセクターの建設機械銘柄などの投資比率を高めとしていたこと。

### <値下がり要因>

- ・一般消費財・サービスセクターの自動車銘柄などの投資比率を高めとしていたこと。
- ・情報技術セクターの銘柄などの投資比率を高めとしていたこと。

### 1万口当たりの費用明細

（2025年9月17日～2026年3月16日）

項 目	第125期～第127期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 58	% 0.545	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(10)	(0.093)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(46)	(0.436)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	( 2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.040	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用等）	( 4)	(0.037)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	62	0.585	
作成期間の平均基準価額は、10,644円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

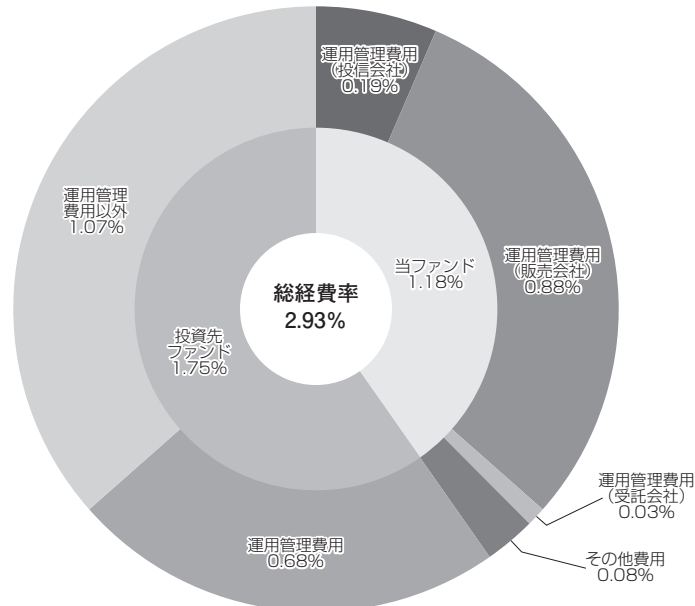
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.93%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	2.93
①当ファンドの費用の比率	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2021年3月15日～2026年3月16日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年3月15日 決算日	2022年3月14日 決算日	2023年3月14日 決算日	2024年3月14日 決算日	2025年3月14日 決算日	2026年3月16日 決算日
基準価額 (円)	8,648	8,796	8,444	11,027	9,671	9,389
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	720	720	720	720	720
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.9	3.7	40.3	△6.6	3.9
純資産総額 (百万円)	1,040	1,218	1,404	2,409	2,340	2,240

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**投資環境**

（2025年9月17日～2026年3月16日）

**（株式市況）**

期間中の市場はボラティリティ（変動性）の高い展開となり、米国の通商政策を巡る不確実性が投資家心理を左右しました。米国政権による追加関税の動きと、これに伴う各国との交渉が意識される局面では、市場に緊張感が広がりました。

インドでは、インド準備銀行（RBI）が中立的なスタンスを維持しつつ、2025年12月に政策金利（レポ金利）を0.25%引き下げて5.25%としました。米国では、2025年12月に米国連邦公開市場委員会（FOMC）が0.25%の利下げを実施し、フェデラル・ファンド（FF）金利の誘導目標を3.50～3.75%へ引き下げました（2025年で3回目の利下げ）。

政策面では、2025年9月に物品・サービス税（GST）評議会が税率体系の見直し（合理化）を打ち出し、日用品などの大部分は5%や18%という低い税率となる一方、高級品や嗜好品には40%の税率が課されることになりました。また、インド政府は税制面の見直しに加え、労働法制の整備・合理化など、規制改革の推進も政策課題として意識されました。マクロ指標では、基準年の更新を含む統計手法の見直しが進むなか、2025年10～12月期の実質国内総生産（GDP）成長率は前年同期比7.8%となり、前期（8.4%）からは減速したものの、市場予想を上回りました。

対外経済関係では、2026年1月27日にインドと欧州連合（EU）が自由貿易協定（FTA）交渉の妥結を発表しました。同協定は、約20億人規模の自由貿易圏を形成し、世界経済の約4分の1に相当する規模をカバーする「最大級の合意」と位置づけられています。欧州委員会は、関税引き下げによる欧州輸出企業の負担軽減が年間最大約40億ユーロにのぼる可能性を示しています。さらに2月に、インドと米国が相互に利益となる貿易に向けた暫定合意の枠組みを発表し、工業製品や農産物を含む関税面での調整が示されました。

**（国内短期金利市況）**

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.42%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.78%近辺で期間末を迎えました。

**（為替市況）**

期間中における円／インドルピー相場は、右記の推移となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2025年9月17日～2026年3月16日)

**（当ファンド）**

当ファンドでは、収益性を追求するため、「Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

**（Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A）**

現在、当ファンドでは金融、一般消費財・サービス、ヘルスケアセクターの投資比率を高めとする一方、不動産、素材、電気通信サービスセクターの投資比率を低めとしています。また、一般消費財・サービスセクターの投資比率を引き下げました。

**（マネー・アカウント・マザーファンド）**

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2025年9月17日～2026年3月16日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**分配金**

（2025年9月17日～2026年3月16日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第125期	第126期	第127期
	2025年9月17日 ～2025年11月14日	2025年11月15日 ～2026年1月14日	2026年1月15日 ～2026年3月16日
当期分配金	120	120	120
（対基準価額比率）	1.084%	1.091%	1.262%
当期の収益	17	24	31
当期の収益以外	102	95	88
翌期繰越分配対象額	5,747	5,652	5,564

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****（当ファンド）**

引き続き、原則として「Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

**（Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）**

期間中、インド市場は低調な企業業績の伸び悩み、AI（人工知能）分野からの直接的な追い風の乏しさに加え、地政学的な分断の進行などを背景に、全体として圧力を受ける局面がみられました。一方で、インドの中期的な成長見通しは、金融・財政両面での緩和策に支えられていることから、こうした低調な局面は次第に反転していくと当ファンドではみています。

金融面では、RBIが2025年を通じて政策金利を累計1.25%引き下げるとともに、預金準備率を累計1.00%引き下げるなど、複数の金融緩和措置を実施しました。財政面では、政府が2025年2月の予算において直接税率の引き下げを行ない、同年9月にはGSTの税率を引き下げました。あわせて歳出も高水準を維持したことで、内需の下支えや国内流動性の改善につながり、改革への前向きな動きが中期的な経済の安定性を支えると考えられます。

インド政府は、GSTの構造や税率の合理化、労働改革を含む規制改革への取り組みを進めています。これらの施策は、コンプライアンス負担の軽減、ビジネス環境の改善、外国投資の誘致、イノベーションの促進といった点で構造的にポジティブであり、当ファンドでは、こうした改革の流れは今後も継続

するとみています。

インドは、若年層の豊富な労働力、大きな国内市場、税制改革や政府による各種政策支援を背景に、長期的な成長が期待されています。世界的な貿易摩擦や供給網の混乱は短期的な不確実性要因となるものの、長期的にはインドにとってプラスに働く可能性があります。インドの輸出に占める米国向けの比率は相対的に低く、影響は限定的であると考えられます。インドは関税問題への対応を通じて、米国当局との関係改善を進めていくと当ファンドではみています。

もっとも、短期的には市場のボラティリティが高まる局面が続くと予想しています。米国とイスラエルによるイランへの軍事行動を受けて、西アジア全域で報復攻撃が発生しており、紛争の期間やその帰結は依然として不透明です。インドにとって、低インフレと着実な経済成長という現在の「ゴルディロック（適度／適温）」的なマクロ経済状況が維持されるかどうかは、原油価格の動向、紛争の長期化の有無、そして当局の政策対応に左右されると考えられます。

結論として、当ファンドではインドの堅調な経済成長、世界貿易における存在感の高まり、ならびに財政の健全化といった点を背景に、同国の中長期的な成長見通しについて引き続きポジティブな見方をしています。そのなかでも、キャッシュフローが潤沢で、負債比率が低く、株主資本利益率が高いといった財務面の質が高い企業に、引き続き注目しています。一方で、短期的には地政学的な不確実性が高い状況が続いており、市場のボラティリティが高まる局面も想定されます。足元では、金融、一般消費財・サービス、ヘルスケアセクターなどの投資比率を高めとする一方、電気通信サービス、不動産、情報技術セクターの投資比率を低めとしています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

#### （マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## お知らせ

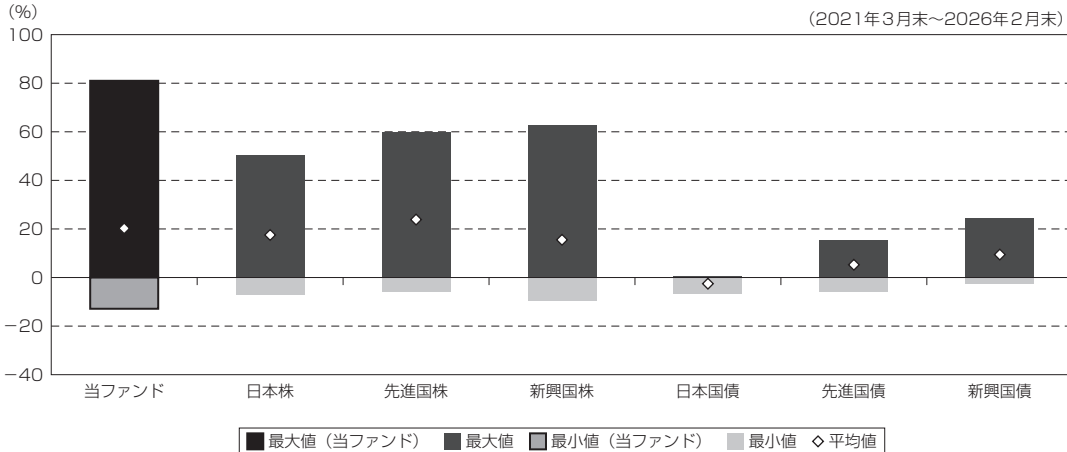
2025年9月17日から2026年3月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2014年5月16日から2049年3月12日までです。
運用方針	主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。原則として、対円での為替ヘッジは行ないません。
分配方針	第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	81.0	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値	△12.9	△7.1	△5.8	△9.7	△6.9	△6.1	△2.7
平均値	20.2	17.5	23.9	15.5	△2.5	5.3	9.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPMorgan GBI-EMグローバル・ディバシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

#### 指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J.P.X総研又は株式会社J.P.X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象とした指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象とした指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPMorgan GBI-EMグローバル・ディバシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2026年3月16日現在)

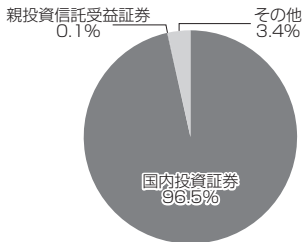
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第127期末
	%
Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	96.5
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

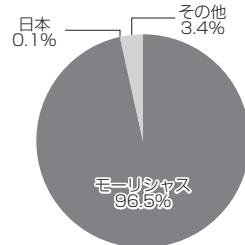
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

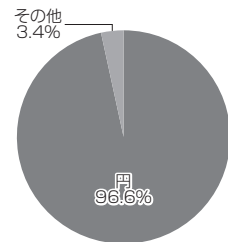
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資証券には外国籍（邦貨建）の投資証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

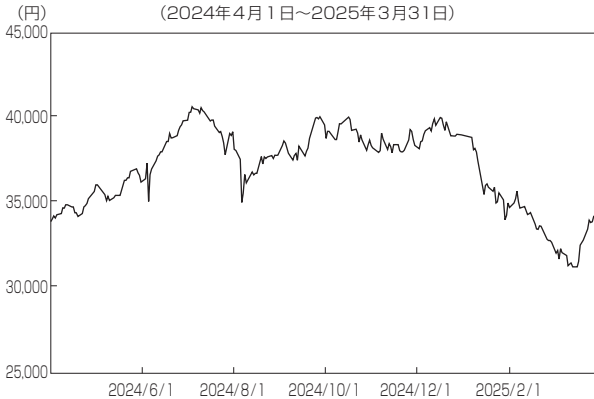
項目	第125期末	第126期末	第127期末
	2025年11月14日	2026年1月14日	2026年3月16日
純資産総額	2,590,172,427円	2,571,319,990円	2,240,501,889円
受益権総口数	2,365,979,985口	2,363,844,883口	2,386,327,150口
1万口当たり基準価額	10,948円	10,878円	9,389円

(注) 当作成期間（第125期～第127期）中における追加設定元本額は288,109,879円、同解約元本額は338,366,482円です。

組入上位ファンドの概要

Amova Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万円当たりの費用明細】

(2024年4月1日～2025年3月31日)

当該期間の1万円当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2025年3月31日現在)

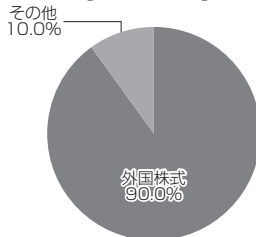
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	HDFC Bank	銀行	インドルピー	インド	8.2
2	ICICI Bank	銀行	インドルピー	インド	7.8
3	Bharti Airtel Limited	その他	インドルピー	インド	5.8
4	Mahindra & Mahindra Ltd	インフラストラクチャー	インドルピー	インド	5.7
5	Sun Pharmaceuticals Inds Ltd	医薬品	インドルピー	インド	3.7
6	Shriram Finance Ltd	金融	インドルピー	インド	3.4
7	AU Small Finance Bank Ltd	銀行	インドルピー	インド	3.2
8	Zomato Limited	その他	インドルピー	インド	2.9
9	Indian Hotels Co Limited	その他	インドルピー	インド	2.7
10	Indian Oil Corp Ltd	エネルギー	インドルピー	インド	2.7
組入銘柄数			37銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

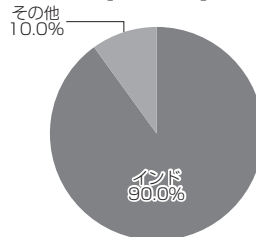
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

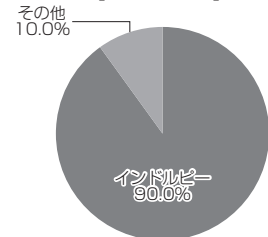
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



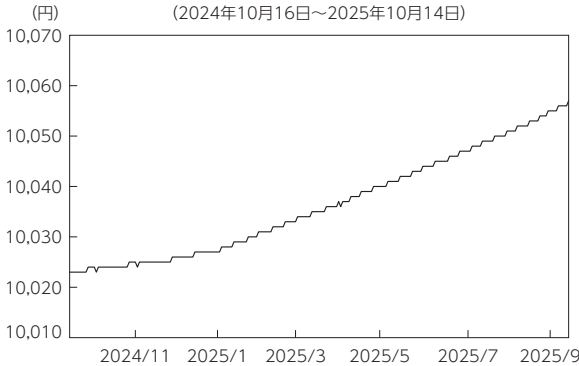
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年10月16日～2025年10月14日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年10月14日現在)

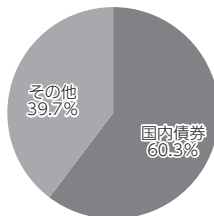
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第454回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	60.3%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

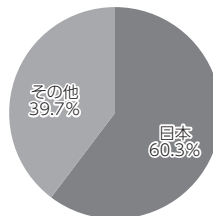
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

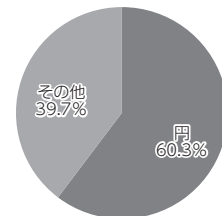
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。